

林業福島

No. 594

題字 福島県知事 佐藤 雄平



ふくしまから
はじめよう。
Future From Fukushima.

2

2014

かんしゅう■福島県農林水産部
表紙の写真■復活したシャリンバイ



「マツ林が津波から 命と財産を守った」

農林種苗農業協同組合

代表理事組合長 野尻 榮一

平成二十三年三月十一日に発生した東日本大震災からもうすぐ三年を迎えようとしています。当時、被災時に逃げ遅れ津波に巻き込まれたが、引き波に流されていく時に海岸にあった大きな松にしがみつき一命を取りとめたという話を聞いたことがあるかと思えます。

本県を襲った津波の高さは五メートルから二〇メートルと非常に大きく、海岸のマツ林では完全に押しとどめることは出来なかつたにせよ、多くの人命、財産を救うという減災効果を発揮したのであります。

海岸マツ林の津波に対する効果として

- ① 波の波力を減衰し流速やエネルギーを低下させ、その破壊力を弱める。
- ② 樹木が漂流物の移動を阻止し、二次的災害の軽減又は防止する。
- ③ 波にさらわれた人がすがりついたり、ひっかかる対象となる。

これらの海岸部のマツ林は自生したのではなく、ほとんどは先人が生活を守るために十七世紀頃から本格的に造成してきた歴史があります。

本県においても、いわき市平沼ノ内の諏訪神社に「須賀山道三林」の碑があります。道山林の「道山」は磐城平藩内藤家の初代藩主政長公（一五六八〜一六三四）の法名であり、政長公は潮風や塩害から家や田畑を守るため新舞子海岸を中心にマツ林を造成しております。

いくらマツは乾燥や塩の害に強いとはいえ、植栽に当たっては、苗の周りに防風垣を作り、苗の表面にわらを敷いて乾燥を防ぎ、遠くから水を運んで散水するなど、苦勞を重ねながら造り・守ってきたものです。

国や県は、今回の津波による海岸林の甚大な被災状況を踏まえ、飛砂・風害の防備等の防災機能に加え、津波に対する被害軽減効果を考慮した海岸防災林の復旧・再生を実施することとし、福島県の海岸一四キロメートル、面積にして五七〇ヘクタールについて、平成三三年度までにマツによる海岸林を造成することとしております。

そのマツ林を造成するためには、総本数で約六三〇万本のマツの苗木が必要になるとのことです。そのため、県と当組合は「海岸林復旧に使用する抵抗性マツ種子等の協定書」を締結し、活着率が高く、植栽方法が簡単なコンテナマツ苗の生産に取り組み、県からマツの種子の提供を受け、年間約八〇万本のコンテナマツ苗を供給できる体制をとっております。

当組合はコンテナマツ苗を適切に供給することにより、海岸林の復旧・復興に寄与し、いくらでも福島県再生のお役に立てるよう、今後とも組合員一丸となり頑張っております。

《も く じ》

とびら	緑の募金コーナー……………	7
「マツ林が津波から命と財産を守った」	海岸防災林再生等	
農林種苗農業協同組合	復興支援事業について……………	8
代表理事組合長 野尻 榮一……………	普及指導員通信……………	9
山火事を防止しましょう	◆ 木連だより……………	10
～守りたい 森の輝き 防火の心～…	福島水源林整備事務所だより……………	11
林業労働力確保支援センターだより ……	木材市況・ふくしま東西南北……………	12
森林・山村多面的	はなしのひろば……………	13
機能発揮対策事業について……………		5～6

山火事を防止しましょう

守りたい 森の輝き 防火の心

福島県森林保全課

○山火事の発生状況

冬から春にかけては空気が乾燥し、季節風も強いいため火災が発生しやすい気象条件となっています。また、春先は暖かくなって山に入る人が増えるほか、農作業等で火入れを行うなど山に近い場所等で火を使う機会が増えます。このため、例年二月から五月にかけて山火事が多く発生します。

平成二四年は県内で二三件(前年四〇件)の山火事が発生し、うち同時期の発生は約四割でしたが、例年は大部分がこの時期に集中しています。

○山火事の原因

平成二四年の山火事の原因は、「たき火」によるものが最も多く、次いで、「放火の疑い」となっており、人為的な原因によるものが七割以上を占めています。

○山火事による損失

山火事による損失は、森林を所有する方の財産が失われるだけでなく、私達の生活環境を維持するうえで大切な水源かん養機能など、森林のもつ様々な機能も失うこととなります。

燃えてしまった森林をもとの姿に戻

すためには、多額の費用と多くの人手、そして長い年月を要します。このため、普段からの予防対策により山火事を出さないことが重要となります。

○山火事の消火方法

山火事の消火活動は、市街地の火災に比べ、道路、水利、地形などの条件から非常に困難であるため、自力での消火は大変危険です。

山火事が発生した場合は、山火事を発見したときは、すぐに消防署等へ通報するようお願いいたします。

なお、原発事故に伴う避難指示区域において大規模な林野火災等が発生した場合、管轄消防

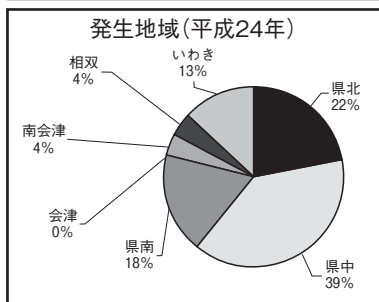
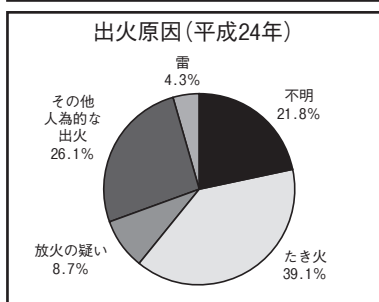
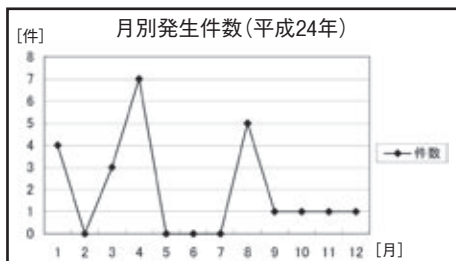
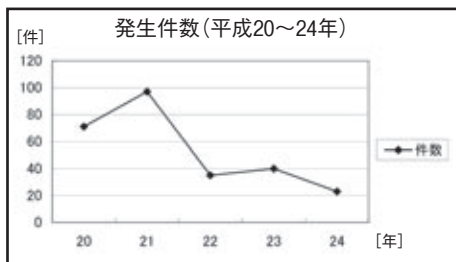
本部からの支援要

請により、福島市消防本部(代表消防

防本部)で支援調整・広域応援隊の編成を行い、広域応援隊が派遣されることになっていきます。

○福島県での山火事予防運動

林野火災関係図表



福島県では市町村、森林管理署、消防本部等の関係機関と連携して、「山火事予防運動」を実施しています。広報誌やテレビ・ラジオ、各農林事務所での山火事予防の働きかけなどを通じて県民の皆さんに山火事予防についてお知らせしています。

また、放射性物質に汚染された本県の森林で火事が発生すると、落葉や樹木に付いているセシウムが再び拡散してしまう恐れがあります。予防することが何より重要です。

○おわりに

大きな被害を引き起こす山火事を予

- 1 火入れを行う場合は、必ず許可を受ける。
- 2 タバコは指定された場所です喫煙し、吸いながらは必ず消火する。
- 3 枯れ草などの燃えやすいものがある場所では、たき火をしない。
- 4 たき火をする時には水を用意しておき、火から離れる際には完全に消火する。
- 5 乾燥時や強風時には、たき火や火入れをしない。
- 6 火遊びは絶対にしない。させない。

山火事の大部分は、私達一人ひとりの注意で防ぐことができます。

福島県の緑豊かな森林を山火事から守るため、皆さんのご協力をお願いします。

林業労働力確保支援センターだより

『明日の 林業の担い手の 育成のために』



フォワーダ運搬作業
(グラブによる積み込み作業) /
高性能林業機械実践研修会

戦後に植栽された森林（人工林）の多くが利用期を迎えています。その大部分は、材価が安いなどの理由で、管理や間伐等の施策が十分に行われていない状況にあります。

利用期を迎えた人工林を有効活用し、国産材の安定供給と木材の供給量に占める国産材の割合を国の目標の五〇％にするためには、生産量の倍増が必要となります。

そのためには、林業従事者の大幅な増加と専門的かつ高度な知識・技術・技能を有した現場技能者の確保が必要です。

福島県林業労働力確保支援センター（以下、支援センター）では、県内林業の持続的かつ健全な発展のため、林業事業体の経営基盤の強化、林業の担い手の確保・育成等をめざし各種事業を実施しております。

本年度の事業も残り僅かとなりま

したが、その概要についてお知らせいたします。

（一）「緑の雇用」現場技能者育成対策事業

支援センターでは、全国森林組合連合会から「緑の雇用」現場技能者育成対策事業を受託し、認定事業体の新規就業者を対象として三年間を通じて体系的に技能の習得が図られるよう全国統一のカリキュラムにより、集合研修と実践研修を実施しております。

① 集合研修

新規就業者等（一年生三九名、二年生三五名、三年生三三名、計一〇七名）に対し、林業の基本的な知識・技術技能等を習得させるための座学及び実習等による研修を六月から開始しました。

約七五日間の研修も残り僅かとな

り、研修生（現在一年生三五名、二年生二七名、三年生三〇名、計九二名）は終了に向かって最後の仕上げに入っております。

なお、三年間研修を修了した研修生につきましては、平成二五年度林野庁発行の研修修了者名簿に登録されます。

② 実践研修

集合研修の内容を踏まえ、各事業体実際の作業現場において、知識・技能等の習熟を図る実践（OJT）研修（二日目：上限十月 一八〇日、三年目：上限八月 一四〇日）の研修を県内の十四事業体で実施しました。



木材市場の視察 /
緑の雇用フォレストワーカー集合研修

これまでの貸付台数は、本年度導入分の九台を含め、合計一〇〇台になります。

今後は、これまでに導入した機械の効果的な稼働を維持するために、計画的な間伐等の実施が必要と考えられています。

（三）高性能林業機械実践研修会

県内で機械を保有あるいは稼働されている林業事業体等の職員に対し、機械操作技術の向上と安全意識の啓発を図ることを目指した研修会を実施しました。

八月六日～八日の三日間、猪苗代町若宮の公社造林地を中心に、のべ一九名の参加を得て実施しました。

一日目は、機械の構造と保守・点検等を中心とした室内研修、二日目以降は、現場で実際に機械を稼働さ



ハーベスタ・プロセッサの講習 /
高性能林業機械実践研修会

（二）高性能林業機械貸付事業
高性能林業機械（以下、機械）の貸付は、平成二二年度から実施し、

せての現地研修を行いました。

現地研修では、専門の講師による指導の下、四班に分かれて、ハーベスタ・プロセッサによる造材作業、グラップル・スイングヤーダによる集材作業(索張り・撤去等含む)、フォワーダによる集材・運搬作業、さらに、実機を使用したメンテナンス作業(オイル交換等)を行い、機械操作時の注意点や基本技術等を修得しました。

なお、研修の実施にあたり、国有林林道の利用について、会津森林管理署のご協力を頂きました。

(四) 低コスト作業路開設研修(放射性物質対処型)

今年度は放射性物質に汚染された森林地域に於いて、森林作業路の作設に従事することが見込まれる林業事業体に勤務する者を対象に、放射性物質に係る知識及び放射性物質に対処した作設技術を備えたオペレーターを育成することを目的として、一般社団法人フォレスト・サーベイとの共催で、これまでに二回(一回目は、九月三日〜六日までいわき市において、二回目は、十一月十八日〜二十一日まで田村市において)各四日間の日程で研修を実施しました。

研修カリキュラムは座学と実技で構成され、座学では放射性物質に関する基礎知識、放射性物質の動態、

安全な作業方法、空間線量の測定方法、森林作業道の役割を、実技では、放射性物質に対処した路線選定と放射性物質の流出・拡散防止の対処土工を中心し、作業道の作設手順と土工の基本技術、特に現場において必要となる洗い越、水切り、丸太組等の工法を、熟練の知識と技術を有する講師により、研修生一人一人について丁寧に指導していただきました。

研修生は二箇所ずつ十七名で、無事全員に修了証書を交付することができました。本年度最後の研修となる三回目については、塙町において一月二八〜三一日に実施しました。

(五) 異業種参入促進事業

林業への参入を希望する異業種団体(建設業者等)の作業員に対して、



チェーンソーの講習/異業種参入促進事業

森林林業の知識や技能を習得させ、林業への参入機会を促進する目的で、八月〜十一月にかけて実施しました。

特に、今年度から、森林の公益的機能を維持しながら放射性物質を削減し、本県の森林再生を図ることを目的とした「ふくしま森林再生事業」がスタートしたことを受けて、森林除染に係る間伐や更新伐、除伐、下刈り、植栽等に従事する機会が増加することが予想されることから、「刈払機安全衛生教育」・「チェーンソー特別教育」の受講希望者が多く、九四名が受講しました。

(六) 森林・林業人材育成加速化事業(素材生産に必要な講習等への参加支援事業)

造林作業で経験を積んでいる林業就業者に対し、素材生産作業を行うために必要な技能講習や安全講習の受講に必要な経費を助成するものです。

受講者はのべ三三四人、十二月末日現在の受講済み者は一〇二人となつています。

以上、『明日の林業の担い手の育成のために』支援センターが行っている研修や事業等を紹介しました。

これからも、皆様のご理解とご協力をいただきながら、本県の林業労働力の確保の支援に努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

(公社)福島県森林・林業・緑化協会 きのこ振興センター

きのこで地域を元気に

●菌床栽培用ナメコ(登録品種)

福島N1号



安定多収量

●原木栽培用ナメコ(登録品種)

福島N2号



大型・滑り少

福島N3号



福島N4号



コナラ原木で安定・多収量
食物繊維、ペクチン様物質豊富

- その他各種種菌
- 菌床
 - ・シイタケ
 - ・ハタケシメジ
 - ・ムラサキシメジ等
- マイタケホダ木
- 栽培資材

〒963-0112 郡山市安積町成田字西島坂7-2 Tel 024-947-2188 Fax 024-947-6926
E-mail: f-kinoko@mtj.biglobe.ne.jp URL: http://www.f-kinoko.org

森林・山村多面的機能発揮対策事業について



公益財団法人ふくしまフォレスト・エコ・ライフ財団
弦 間 一 郎

〈事業の概要〉

人里（居住地）近くに広がり、薪炭用材の伐採、落ち葉の採取等を通じて、地域住民に継続的に利用されることにより維持・管理されてきた里山林は、昭和30年代の石油・ガスなどの化石燃料の普及、化学肥料の普及等や山村の過疎化などにより、森林の手入れが行われなくなったことで、森林の藪化や竹の侵入等による荒廃が進んでいます。

国（林野庁）では、平成25年度～27年度の3ヵ年にわたり「森林・山村の多面的機能発揮対策事業」をスタートさせました。この事業は、地域住民が森林所有者、NPO法人、民間団体などと一緒に活動組織を作って、里山林の保安全管理や資源を利用するための活動、森林環境教育の普及など以下(1)～(3)の取組とそのため資機材の整備に対し、一定の費用を支援するものです。なお、活動組織当たり500万円が上限となります。

- (1) 地域環境保全タイプ…「荒れている里山林や竹林の手入れをしたい」という取組みに対応する支援
 - ・集落周辺の里山林を維持するための景観保全・整備活動、集落周辺での鳥獣被害の防止活動、風倒木や枯損木の除去、集積、処理……………16万円／ha
 - ・侵入竹の伐採・除去活動や利用に向けた取組……………38万円／ha
- (2) 森林資源利用タイプ…「薪など地域の資源を活用して、山村を活性化したい」という取組みに対応する支援
 - ・里山林の広葉樹等未利用資源を収集し、木質バイオマス、炭焼き、しいたけ原木等として利用する活動や伝統工芸品の原料として活用……………16万円／ha
- (3) 森林空間利用タイプ…「子ども達に、森林の中で自然体験させたい」という取組みに対応する支援
 - ・地域の森林における森林環境教育や森林レクリエーション活動の実践等……………5万円／回
- (4) 機材及び資材の整備
 - ・上記(1)・(2)の実施のために必要な機材及び資材の整備……………必要額の1／2

〈事業実施の流れ〉

前記の取組みを実現するための支援（交付金など）を、この事業から受けるには？

- (1) 活動する地域（主に市町村）ごとに「活動組織」を設立します。
- (2) 都道府県単位に設立される「地域協議会」に対し、支援の申し込み（活動計画書など書類の申請を含む）を行います。
- (3) 支援のための交付金は、「地域協議会」を経由（申請書類の内容確認などを含む）して各「活動組織」にわたされます。交付金の金額は、申請内容により決定されます。
- (4) 提出した計画書に従い、事業を行います。
- (5) 毎年度の事業終了後、各「活動組織」は報告書を作り、「地域協議会」へ提出します。「地域協議会」は実施内容を確認し、林野庁長官に報告します。

〈福島県内での取組み〉

- (1) 本事業の初年度にあたる平成25年度には、福島県内から8つの「活動組織（いわき地区、県中地区、会津地区、南会津地区）」が設立されました。
- (2) 平成25年10月24日に福島県内の窓口にあたる地域協議会「ふくしま森林・山村多面的機能発揮対策協議会」が設立されました。12月24日には地域協議会の臨時総会が開かれ、県内の8活動組織からの申請の採



協議会臨時総会

択を決定、現在、交付金交付の手続きを行っています。

〈今後について〉

初年度にあたる平成25年度事業の申し込みは終了しました。平成26年度事業の申し込みについては、あらためてお知らせいたします。

東日本大震災以降、以前にも増して人手の入らなくなった福島県内の森林（特に里山林）を手入れし、次世代を担う子供達を含め、より多くの福島県民が福島の森林に興味・関心を持ってもらうことや地域振興に役立てることなどが、今、強く求められています。

福島県内で森林ボランティア活動を実践されている方々、また、子供達を対象とした森林環境教育を進めている方々、森林資源を活用し地域の活性化を目指している方々など、森林の活用に関心をお持ちの方は、速やかに、活動拠点にある福島県の農林事務所（担当：森林林業部 林業課）へお問い合わせいただくとともに、支援の申し込みを行って下さい。

関連情報

林野庁：森林・山村多面的機能発揮対策事業について <http://www.rinya.maff.go.jp/j/sanson/tamenteki.html>

福島県：各農林事務所 連絡先一覧 http://www.pref.fukushima.jp/forest_c/link/jimusyolink.html

ふくしま森林・山村多面的機能発揮対策協議会

事務局：(公財)ふくしまフォレスト・エコ・ライフ財団

〒969-1302 福島県安達郡大玉村玉井字長久保68 ふくしま県民の森

フォレストパークあだたら内

TEL 0243-48-2040

森林・山村多面的機能発揮対策（事業）

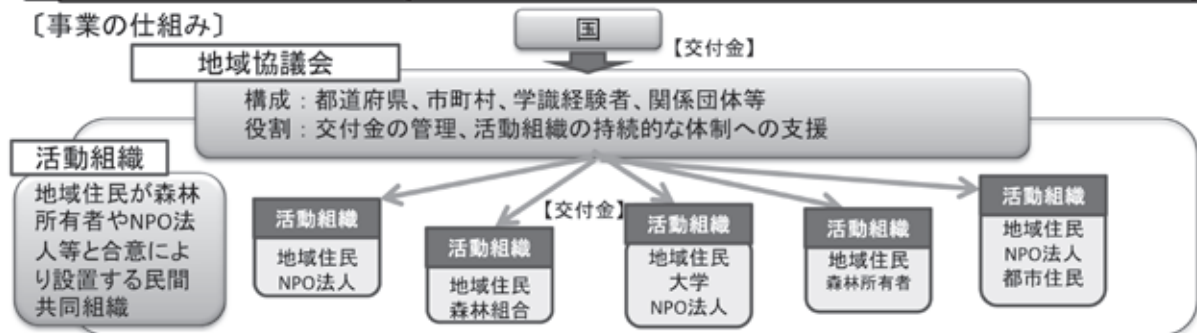
【3,000百万円】

背景 森林・林業を支える山村において、過疎化・高齢化の進行に伴い、地域住民と森林との関わりが希薄化しつつあり、水源の涵養、山地災害の防止、生活環境の保全、生物多様性の保全等森林の有する多面的機能の発揮が困難となっている。

事業 地域住民が森林所有者、NPO法人、関係団体等と地域で合意した民間協働組織（活動組織）が実施する森林の保全管理や森林資源の利活用等、森林の多面的機能の維持増進および山村の活性化に資する取組に対し、平成25年度～27年度の3年間、一定の費用を国が支援。

〔・補助率：定額（1/2相当）・1活動組織当たりの交付上限額：500万円〕

〔事業の仕組み〕



支援対象となる活動組織の活動内容例

地域環境保全タイプ		森林資源利用タイプ		森林空間利用タイプ
里山林景観を維持するための活動	侵入竹の伐採・除去活動	集落周辺の広葉樹の伐採・搬出	広葉樹を薪として利用	森林環境教育の実践

平成26年度の緑の募金目標額 **7,000万円**

緑の募金のご協力よろしくお願いたします

緑の募金のお願い (公社)福島県森林・林業・緑化協会

平成25年度は下表のように、約5,890万円（4月～12月分集計）のご寄附をいただきました。多くの県民の皆さま及び関係者の皆さまに厚く御礼申し上げます。

平成26年度は、緑の募金法が制定されて20年目を迎える節目となりますが、本県では平成30年の全国植樹祭の開催に向け、「緑の募金」のより一層の拡大を目指し、募金運動を展開するとともに、森林や緑を県民全体で守り育て、「震災からの復興」と「緑豊かな潤いのある美しいふくしまづくり」を推進していきたいと思ひます。

このため、関係機関等と連携を密にし、企業や森林ボランティア団体等をはじめ、県民の皆さまの協力をいただきながら、森林文化の発掘・継承、次代を担う青少年の育成、森林ボランティアの活動支援、県民参加による森林づくりなど、幅広い分野での緑化運動を展開し、緑化思想の啓発に努めてまいります。

全国の「緑の募金」春季キャンペーンは、1月15日からスタートし、本県におきましては、新年度がはじまる4月1日から5月31日が春季「緑の募金」運動期間となっておりますので、皆さまのご理解とご協力を願ひいたします。



平成26年の緑化運動標語
「木を植えて 百年先の 森づくり」

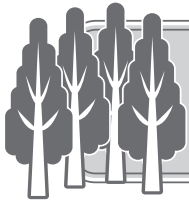
〒960-8043 福島市中町5-18（林業会館内）
(公社)福島県森林・林業・緑化協会
TEL 024-524-1480 FAX 024-521-3246

平成25年度 緑の募金実績（平成25年4月～12月）

単位：円

市・地方緑化推進委員会	募金目標額	募金実績額	達成率 (%)	募金の種類				
				街頭募金	家庭募金	企業募金	職場募金	学校募金
福島市緑化推進委員会	9,300,000	3,818,130	41.1	88,055	0	1,361,266	775,317	1,593,492
伊達市緑化推進委員会	2,300,000	2,610,160	113.5	33,188	2,025,210	246,013	249,098	56,651
伊達郡緑化推進委員会	1,400,000	1,597,391	114.1	51,147	1,093,706	259,000	156,746	36,792
二本松市緑化推進委員会	2,100,000	603,068	28.7	1,455	0	497,619	103,994	0
本宮地域緑化推進委員会	1,300,000	1,715,956	132.0	59,150	931,800	489,211	115,077	120,718
国土緑化郡山市推進委員会	11,100,000	10,474,755	94.4	1,896	6,891,730	799,356	873,182	1,908,591
須賀川市緑化推進委員会	2,600,000	0	0.0	0	0	0	0	0
国土緑化岩瀬地方推進委員会	600,000	677,351	112.9	1,234	483,988	5,835	106,692	79,602
田村地方緑化推進委員会	2,600,000	3,431,023	132.0	44,167	2,384,050	410,968	525,873	65,965
国土緑化石川地方推進委員会	1,800,000	1,936,298	107.6	337	1,080,500	294,288	219,992	341,181
白河市緑化推進委員会	2,200,000	1,927,025	87.6	4,916	1,204,900	556,269	160,940	0
国土緑化西白河地方推進委員会	1,600,000	1,985,896	124.1	15,013	1,332,000	425,769	198,220	14,894
国土緑化東白川地方推進委員会	1,500,000	1,381,136	92.1	54,478	927,370	197,555	171,580	30,153
国土緑化会津若松市推進委員会	4,500,000	5,661,045	125.8	44,011	3,695,560	512,000	747,828	661,646
両沼地方緑化推進委員会	2,000,000	1,833,634	91.7	1,364	1,619,133	30,000	183,137	0
会津耶麻地方緑化推進委員会	1,200,000	1,334,307	111.2	204	1,059,600	80,000	103,051	91,452
喜多方市緑化推進委員会	2,000,000	2,283,725	114.2	37,826	1,605,400	225,000	409,831	5,668
南会津地方緑化推進委員会	1,400,000	1,850,503	132.2	48,252	1,485,183	62,000	228,618	26,450
相馬地方緑化推進委員会	4,400,000	450,876	10.2	0	0	0	450,876	0
双葉地方緑化推進委員会	2,600,000	0	0.0	0	0	0	0	0
いわき市緑化推進委員会	11,500,000	12,120,739	105.4	42,278	8,716,986	1,231,914	1,614,978	514,583
小計	70,000,000	57,693,018	82.4	528,971	36,537,116	7,684,063	7,395,030	5,547,838
事務局	-	1,220,896	-	2,252	0	702,214	516,430	0
合計	70,000,000	58,913,914	84.2	531,223	36,537,116	8,386,277	7,911,460	5,547,838

※街頭募金にイベント募金、常設募金等を含む



海岸防災林再生等復興支援事業について

(公社)福島県森林・林業・緑化協会

当協会では、東日本大震災で甚大な被害を受けた海岸防災林の再生について、林野庁の公募事業である海岸防災林再生等復興支援事業の実施団体として認定され、去年10月から本事業をスタートさせました。下図の「森林ボランティアによる森林づくり活動の推進体系」のとおり、当協会は、森林管理者や森林・林業・技術指導者と連携し、森林づくり活動団体の活動が円滑に行われるよう支援するコーディネーターの役割を担っております。

今年度は、民間参画の仕組みづくりへの支援とNPO等の植樹活動に対する支援として、以下のような事業計画をすすめており、3月4日(火)に「森林づくり活動研修会(仮称)」、22日(土)に「ふくしまの森・復興大会」、26日(水)に「県民講習会(仮称)」を予定しております。詳しいご案内については随時お知らせいたします。

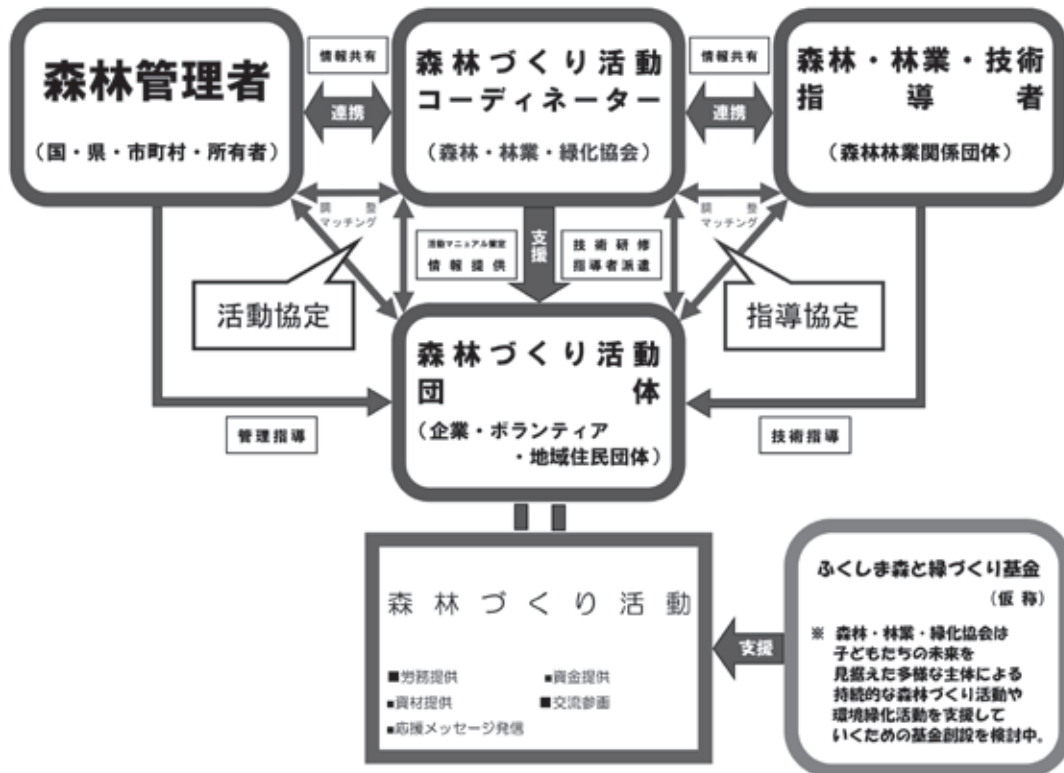
平成25年度 主な事業計画

- | | |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>(1) 民間参画の仕組みづくりへの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○協議会の設置(ふくしまの森・復興会議) ○現地調査 ○企業、森林ボランティア団体等への意向調査 ○マスタープランの策定 ○ふくしまの森・復興大会の開催 ○ホームページの作成 | <p>(2) NPO等の植樹活動に対する支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○県民講習会(仮称) ○森林づくり活動研修会(仮称) |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

〒960-8043
 福島市中町5-18(林業会館内)
 (公社)福島県森林・林業・緑化協会
 海岸防災林再生等復興支援担当
 TEL 024-563-3585 FAX 024-521-3246

〔森林ボランティアによる森林づくり活動の推進体系〕

(海岸防災林再生等復興支援事業を活用したふくしまの森の復興)



木材利用推進に関する 普及活動について

■南会津農林事務所
林業普及指導員 弓田美和

森林整備を推進するためにも、木材利用についての普及の重要性は高まっています。

そこで、当管内で行った木材利用推進に関する普及活動について、森林環境税を活用した「ほっと」スペース創出事業の事例を紹介します。

「ほっと」スペース創出事業は、当管内では平成19年度より実施し、県有施設や駅の待合室等11箇所の公共施設に県産材製品を設置してきたところです。平成23年度からは新「ほっと」スペース創出事業となり、執行方針に「高等学校等の教育機関と連携した製品の試作について積極的に検討すること」が追加されたことから、今年度は特にこの項目を重点的に実施しました。

実施校の選定にあたり、当管内の3つの県立高等学校のうち平成14年度まで農林科があった県立田島高等学校に打診したところ、林産加工コースの授業の一環として是非取り組みたいとの回答が得られたことから決定しました。

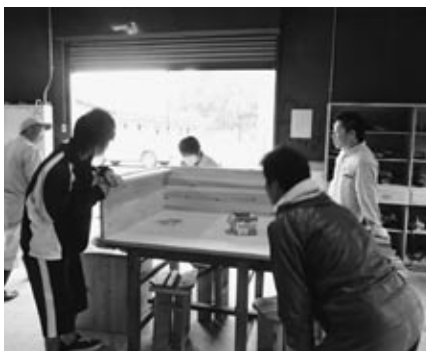
一方、設置箇所については、多くの人が利用する公共交通機関であり、過去に同事業で県産材製品を設置した実績のある会津鉄道と打ち合わせた結果、会津田島駅に木製ラック3台を設置してほしいとの要望がありました。

そこで、作成する田島高等学校と設置場所である会津田島駅との打合せを行い、作成内容やスケジュールなどについて調整しました。

作成に当たっては、生徒たちに本事業の財源にもなっている森林環境税の趣旨や木材利用が森林整備につながるなどについて説明した後、地元の工務店から指導いただき、木製ラックが完成しました。

10月23日、会津田島駅で贈呈式を行い、南会津農林事務所長から会津鉄道の社長に目録が、また、会津鉄道から田島高校には感謝状が贈られました。贈呈にあたり、田島高校生からは、「多くの人に木の良さを伝えられるよう大切に使うてください」と言葉が添えられました。

今回の取り組みを通して、作成に当たった田島高校生に木材利用の重要性が理解されただけでなく、高校生が作成した木製品を利用・展示することにより、駅を利用する多くの方々に親しみを持ち木材をより身近に感じていただければと期待しています。



木製ラック作成中



木製ラック

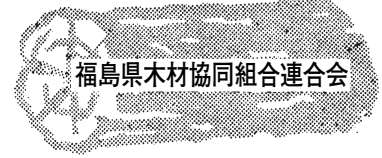


贈呈式（会津田島駅）

団体のページ



樹皮の滞留と 処理状況



原発事故以後以来、各製材工場等に滞留していた樹皮の処理が少しずつ進展し、毎月の発生量約六、〇〇〇トに見合う量は概ね処理できる様になってきました。しかし発生当初から滞留していた分については依然として滞留し続けており、今後これらの減少に向けての努力が求められています。

1. 現在の滞留状況

福島県では約三ヶ月おきに県内の樹皮の発生量及び滞留量を調査しています。公表していませんので、東京電力と県木連で十一月に調査した滞留量を表にしました。
(県内全ての業者ではないので概数)

(単位:ト)

地域	生バーク	ペーラ圧縮分	バーク堆肥
北	3,000	1,500	5,500
中	18,000	2,000	-
南	13,700	-	-
津	7,200	-	-
南津	2,000	200	1,200
相双	5,000	-	8,000
いわき	200	6,500	-
計	49,100	10,200	14,700

2. 処理の状況

遠野興産を中心として、堆肥製造、最終処理施設等で処理を進めており、さらにペーラー圧縮により一時保管も継続しております。

(1) 堆肥製造工場へ
放射能濃度三〇〇ベクレル/キログラム以下に希釈調整し、月約一、〇〇〇ト出荷。

(2) 最終処理施設等
放射能濃度八〇〇ベクレル/キログラム以上のバークを月約四、〇〇〇ト処理業者へ。一部土砂まじり等のバークは管理型最終処分施設へ。

3. 課題

(1) 不安定な処理方法
処理業者が行っている処理方法の一つは、清浄な汚泥等

と希釈焼却し焼却灰(一〇〇ベクレル/キログラム以下)をセメント会社で最終処理するなどしており、汚泥等他の希釈物が収集しにくくなるとバークの集荷も減少することとなります。

(2) バークの放射能濃度が思ったより減少していない。

既存の知見から、セシウム一三四の半減期は二年・立木の樹皮は三〜四年で更新され、さらに表面に付着したセシウムは雨水により洗い落とされている、などから現在集荷されるバークの放射能濃度は相当減少してきたと考えられています。

しかし、遠野興産に集荷されているバークの数値は以前より減少しているものの、依然としてスギ五〇〇ベクレル/キログラム程度のもので多い結果となっています。

さらに今後、森林再生事業が本格化し、そこからの丸太及びその副産物であるバークが集められてくるとさらに放射能濃度が高くなり、処理が困難になってくる恐れがあります。

(3) 焼却施設の必要性

不安定な処理方法とも関連があるが、バークの確実な処理方法は焼却処理であり、それも行政主導の処理施設がどうしても必要です。

環境省では、焼却施設を飯館村蔵平地区に設置することを計画しており、早期の完成を期待したいところです。



ペーラー加工



ペーラー加工樹皮の堆積状況

飯館村蔵平地区の 焼却施設計画について

1. 規模
仮設焼却炉 二四〇ト/日
2. 処理対象物
 - (1) 飯館村内
 - ・可燃ごみ(除染ごみも含む) 約一四万ト
 - ・除染土壌の一部 約五〇〇ト
 - (2) 飯館村外
 - ・農林業系ごみ・稲わら・堆肥・バーク等 約七万ト
 - ・下水汚泥 約二万ト

※飯館村村外とは福島市、相馬市、南相馬市、伊達市、国見町、川俣町に限る。

3. スケジュール
平成二五年度末までに、事業着手。
平成二六年度末目途に仮設焼却炉運転。三年程度で処理終了し速やかに撤去・原状回復。

基本的に現在滞留している物の処理で終了し、今後発生してくるバークや枝葉は対象となりません。

福島水源林整備事務所だより

「高篠山森林公園祭り」 へ参加

森林農地整備センター福島水源林整備事務所では、平成二十五年十一月三日(日)に開催された「高篠山森林公園祭り」に今年も参加させていただきました。

大型台風の影響で天候が懸念されましたが、幸いにも当日は好天に恵まれ絶好の祭り日和となり、多数の方が参加されました。

当センターは今年で三回目の参加になりますが、ゲームを通して森林が果たしている多様な働きを楽しく学んでいただくとうと、様々な森林の働きである「水を蓄える」・「空気をきれいにする」・「地球温暖化の防止」等を九本の的にし、マタタビの蔓で作った輪を投げ入れる「ビンゴ輪投げ」を今年も行いました。

マタタビの蔓の輪は手作りのため、それぞれ大きさが異なるのでなかなかスムーズに投げ入れる



ことが難しく、思ったように飛ばないことがまた面白くて、多数の年配の方や小さな子供達が九本のめがけて笑いと喝采のなか挑戦していただきました。

中には九本の的に全部輪を入れて景品のお菓子を両手一杯に貰って喜ぶ女の子や、お父さんに勝って意気揚々と引き上げて行く男の子の様子が微笑ましかったです。

タテ・ヨコ・ナナメに輪を投げ入れる簡単なゲームですが、特に小さな子供達は『今度は「空気をきれいにする」を狙うんだ』等と的に書いてある文字を声を出して読んでくれて、森林の働きを感じ取ってくれたようでした。

当日は「丸太切り体験」・「花炭づくり」・「自然観察&樹名当



大好評！ビンゴ輪投げ

て」・「五平餅作り」等多数のブースがあつて大変賑わつており、参加者は様々な企画を楽しんだ後は、無料で振る舞われた湖南町そば振興組合の「新そば」や森林組合の「芋煮」に舌鼓を打ち、楽しい秋のひとつきを満喫しました。



ボク がんばるよ

打ち体験」・「夏休み親子木の枝クラフト体験」・「つる細工教室」等様々な世代が楽しめるイベントが多数開催されております。

バンガロー・キャンプ施設もある標高六七〇㊦の自然豊かな公園ですので、是非とも皆様ご参加下さい。



素材の価格〈工場着価格〉(11月15日現在)

(単位: m³当り千円)

区分	形量		材質	樹種	中通り地方		会津地方		浜通り地方		県平均		
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	
一般用材	小	5~9	4.00	並	スギ	9 (8~10)	0	(0~0)	0	8 (6~9)	0	8 (6~10)	0
		10~13		並	スギ	12 (11~14)	1	9 (9~9)	0	9 (7~11)	0	11 (7~14)	1
	中	14~18	3.00	並	スギ	14 (13~16)	1	11 (11~11)	0	11 (8~13)	0	13 (8~16)	1
				並	ヒノキ	21 (18~23)	5	(0~0)	0	15 (12~18)	0	18 (12~23)	2
		6.00	並	スギ	18 (17~21)	1	14 (8~20)	0	15 (14~16)	0	16 (8~21)	0	
			並	ヒノキ	29 (27~32)	2	(0~0)	0	22 (16~27)	1	25 (16~32)	1	
	20~28	3.65	並	スギ	15 (14~16)	2	11 (10~13)	0	12 (10~13)	1	13 (10~16)	1	
		4.00	並	アカマツ	11 (9~13)	0	(0~0)	0	11 (9~13)	0	11 (9~13)	0	
		1.80	並	アカマツ	7 (5~9)	0	(0~0)	0	8 (8~8)	1	7 (5~9)	0	
	外材	30以上	10.00	並	米ツガ	26 (26~26)	0	(0~0)	0	29 (26~31)	2	28 (26~31)	1
並				米マツ	29 (28~30)	0	29 (29~29)	0	30 (28~31)	0	29 (28~31)	0	
28以下		4.00	並	エゾマツ	(0~0)	0	(0~0)	0	27 (25~28)	0	27 (25~28)	0	
			並	ベニマツ	(0~0)	0	(0~0)	0	32 (28~35)	0	32 (28~35)	0	
南洋材		70~90	8~14	並	ラワン	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0
				並	アガチス	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0
パルプ用材	-	-	並	マツ	4 (4~4)	0	(0~0)	0	5 (5~5)	2	4 (4~5)	0	
			並	広葉樹	4 (4~4)	0	(0~0)	0	7 (7~7)	1	5 (4~7)	0	

区分	形量		材質	樹種	会津共販		いわき	
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差
一般用材	12以下	4.00	並	カラマツ	(0~0)	0	(0~0)	0
	13~14		並	カラマツ	(0~0)	0	(0~0)	0
	16以上		並	カラマツ	(0~0)	0	(0~0)	0

注) 1. 前月差の△印は値下りを、*印は前月実績がなかったことを示す。
 2. ()内は各地域の価格幅、()外は各地域の平均的価格を示す。
 3. 一般用材カラマツは工場着価格ではなく、福島県森林組合連合会の会津共販所・いわき木材流通センターの素材市売価格を示す。

十月の原木市場への入荷状況は、前月比二四割増(前年比同)の二八、三〇六立方メートルとなっている。販売量については、前月比二〇割増(前年比四割増)の二七、九五八立方メートルとなっている。十一月の取扱量は、入荷量、販売量共に前年比五割増となっている。十一月の価格については、じり高が続いている。



あの味は、今!

富岡林業指導所 佐川 敦

福島第一原子力発電所事故の影響により、現在も双葉郡内の多くの方々が避難を余儀なくされています。私が新採用でお世話になったのが当時の富岡林業事務所であったことから、双葉郡は県内でも思い入れの強い地域であり心が痛みます。昨春、富岡林業指導所に赴任し、管内の町村へ出張する際、震災前に昼食を取ったあの店は、今どこに!と思うことが度々ありました。復興に向け、県内外を問わず、各地で活躍されている多くの作業従事者の方々も、過酷な労働と心労の中でも、きつと食事には心の安らぎを感じているものと思います。人々の活力の源となる食事!今回、今は懐かしいと思われる方もおられる、双葉郡内の「お食事処」の一つをお知らせしたいと思っています。ご存じの方もおられるかと思いますが、葛尾村にあった〇井食堂です。値段が安く、ボリュームもあることから、葛尾村では人気のお店であり、私も出張の際には、よく食べ

ていました。焼き肉定食(七五〇円)で有名ですが、特にチャーハンは値段(八〇〇円)で五五〇円もボリュームもすごかったです。当時、大盛りチャーハンは、唯一食べきれませんでした。値段は六〇〇円、そのグラム数は、想像におまかせします。現在は、三春町の仮設住宅でオーブンしており、出張の際何度か食べてきました。味、ボリュームとも以前のままでした。

私自身、以前より許容量がアップしているため、健康診断結果と相談しながら、チャーハン大盛りにリベンジする予定です。皆さんも、近くに来られた際には、自らの許容量、健康診断の結果、並びに当日の体調を勘案してぜひご賞味ください。おすすめは、焼き肉おかずと、チャーハン大盛り、味噌汁は、大きい豆腐の入った豚汁(豆腐一丁分は入っているものと思われ)です。いかがでしょうか。上記、締め一、五〇〇円強。

表紙の写真



「復活したシャリンバイ」

第28回ふくしま緑の写真コンクールで特選を受賞した伊東正明さん（相馬市）の作品。

はなしの
ひろば

微春

二四節気で二月三日は立春、二月十九日は雨水。そろそろ身の回りから気配だけではなく春の兆しが見え始める頃となった。氷も融け始め、滴のしたたりと共に季節にも音や動きが戻ってくる。

春の初めには、「福寿草」「臘梅」等黄色い花が目につく。黄色が光の色だとしたら、季節に一筋の光が射し込まれ、黄色い花は、まさに春の序章といえるのかも知れない。

開花は、四〜五月だが、黄色い花「キジムシロ」を、今年いただいた年賀状で初めて知った。これは、花茎を地に這うように広げ、野鳥のキジが座るムシロに例えたもの。その年賀状には「自然は何もなかったように花を咲かせます。飯館村一〇マイクロシーベルト／時間以上の山肌に咲くキジムシロ」と添えてあった。ご自身で撮られたというその写真は、キジムシロの花言葉どおり「明るく輝いて」いた。今年も野鳥のキジは、飯館の山肌に咲く光に誘われ、羽を休めにくるに違いない。

ところで、二月は母の命日月でもある。私は、花を愛し続けた母を、花の咲き誇る季節に送ってあげたかったと何年も思い続けてきた。ところが、ある年の二月末、野菜の種を播く準備に土を掘り起こしていたその瞬間、土の何とも温かいぬくもりのような「気」を感じたのである。この土の気が黄色い花を咲かせ、これから芽吹いていく草花や生き物達を温かく育んでいたのだ。それを肌で感じた時、母は、この土の気のような生きているエネルギーを家族に残していったのだと気づかされた。戒名に刻まれた「微春」という節。二月二十四日、この日は私だけの二五番目の節気。微かな春が少しずつ満ちてくる始まりの日だ。

（都）

編集

福島県内四森林管理署

福島県森林・林業・緑化協会

福島県森林組合連合会

福島県木材協同組合連合会

福島県農林種苗農業同組合

福島県農林業公社

森林総合研究所福島水源林整備事務所

福島県森林・林業・緑化協会

（福島市中町五番一八号県林業会館内）

相馬

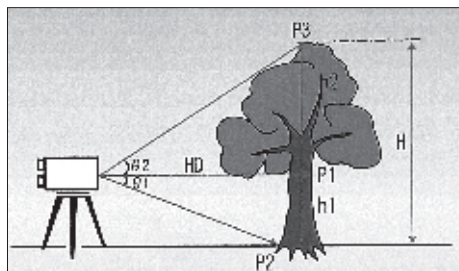
発行人

陽光社印刷株式会社

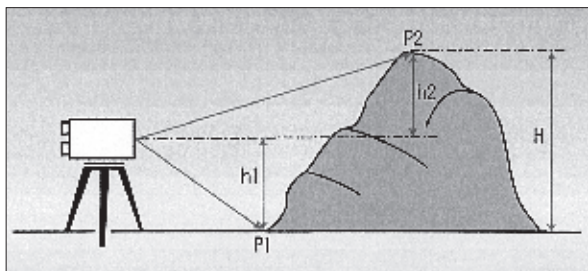
（定価 一〇五円）

高さ測定

1. 樹木の様に比較的まっすぐな場合

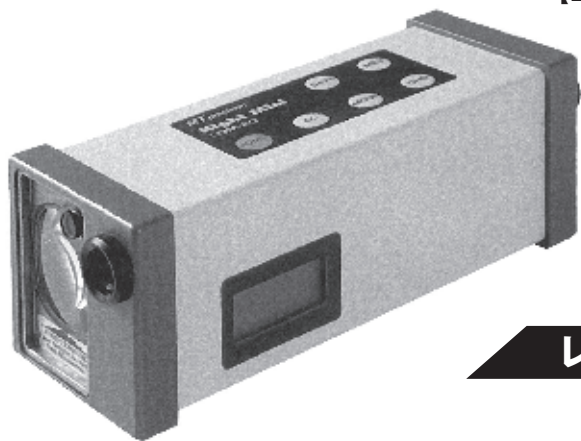


2. 堆積物等の山なり形状の場合



【LDM-20 仕様】

測距範囲	反射板 無30m 有300m
測距精度	± 5mm
傾斜センサー分析能	0.1
測定	高さ・水平距離・斜距離
寸法	W64・H64・D180
重量	650g
付属品	ソフトケース・反射板・取説 RS232Cケーブル・EXCEL取込ソフト



LDM-20

レーザーハイトセンサー「ハイト mini」

株式会社 福島測機

福島市渡利山ノ下前37-2 TEL024-523-1706 FAX024-523-1704

備えのパートナー 森林国営保険

こんな災害からあなたの山を守ります。



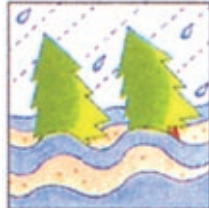
1 火災

山火事で受けた損害



2 風害

暴風による根返り、幹折れなどの損害



3 水害

豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害



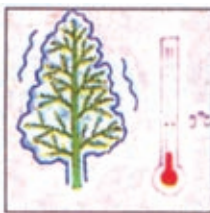
4 雪害

大量の積雪による幹折れ、根返りなどの損害



5 干害

乾燥による枯死などの損害



6 凍害

凍結、寒風などによる枯死などの損害



7 潮害

潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害



8 噴火災

火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《保険の対象となる森林》

竹林や人手の全く入らない天然林を除き、面積が0.01ha以上であれば、樹種、林齢に加入制限はありません。

《ご相談・お申し込みは》

- ◆ 県内各森林組合
- ◆ 福島県森林組合連合会

又は 県庁森林保全課
TEL 024-521-7441

イワフジのプロセッサ

GP-45V グラップルプロセッサ

IWAFUJI
INDUSTRIAL CO., LTD.

シンプルと耐久性を追求したプロセッサ

- 高耐久性を追求したフレームとトンク
- 全旋回を無くしたシンプル設計
- カッタ保持はシンプルなスプリング式
- 強力な油圧モータおよび保持力によるパワフルな送材力
- 大きなトンクによる効率的なグラップル作業
- 皮剥けを防止するガイドローラ付トンク
- 高速コンピュータGP-7による精度の高い安定した測尺
- 手元のノブスイッチで全ての操作が可能

Simple Processor
MODEL : GP- 45V

イワフジ工業株式会社

www.iwafuji.co.jp

北関東支店 〒969-1149 福島県郡山市八山田 5-314
TEL 024-973-5166 FAX 024-973-5168

林業機械の総合メーカー

- ・ハーベスタシリーズ
- ・フォワーダシリーズ
- ・グラップルシリーズ
- ・プロセッサシリーズ
- ・スイングヤーダシリーズ
- ・ラジキャリアシリーズ
- ・木寄せウインチシリーズ

イワフジが開催する「高性能林業機械のメンテナンス研修」受講生募集中!



自然との調和

(私達は、地球的視野に立ち、つねに進取の精神をもって、時代に挑戦します。)
皆様のご要望にお応えする、環境との調和を図る製品やタイムリーな情報を提供し、全国から厚い信頼をいただいております。

野生獣類から大切な植栽木を守る

ヤシマレント

蜂さされ防止

ハチノックL (楽退治)
ハチノックS (携帯用)

大切な日本の松を守る 住化グリーン®の林業薬剤

ヤシマスミバイン乳剤
ヤシマスミバインMC
グリーンガードNEO
パークサイドF
ヤシマNCS
モリエートマイクロカプセル
マツグリーン液剤2
マッケンジー

くん蒸用生分解性シート

与作シート (茶・白)
(折りたたみ式
専用キャリーバック使用)



住化グリーン株式会社

本社 〒104-0032 東京都中央区八丁堀4丁目5番4号 TEL.03-3523-8070 FAX.03-3523-8071
東北営業所 〒981-3133 宮城県仙台市泉区泉中央3丁目10番3号 泉セントラルビル202号室 TEL.022-771-6681 FAX.022-771-6682

効率良く快適に! 手持ち作業から大型作業まで充実のラインナップ。

機器はゼノアから

チッパシュレッダ

プロソー



竹もOK!
SR3000-2
出力 22.3kW (質量1,330kg)
水冷ディーゼル
X379301020
¥3,543,750(税込)



GZ3900EZ
排気量 39.1cm³ (質量4.4kg)
RSP 21BPX 967159403 ¥113,400(税込)
95VPX 967159303
HS 25AP 967159104
91VXL 967159204
HM 21BPX 967159404
95VPX 967159305



GZ4300EZ
排気量 43.1cm³ (質量4.4kg)
45cm(18")
RSP 21BPX 967160502 ¥140,385(税込)
95VPX 967159902
HM 21BPX 967160504
95VPX 967159904

ハスクバーナー・ゼノア(株)福島県代理店
(有)うねめ林業機械

TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚108の1